

平成26年度 訪問入浴サービス部門 事業報告

重点目標

- ①利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理・生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
- ②利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
- ③利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
- ④訪問入浴車2台を以下のように使い、月間延べ訪問件数140件を目安とし、1日平均、5人／台程度の利用となるよう努める。
入浴車1台目：月～金 週5日稼働
2台目：火（午後）・木（午後）・金（全日）
週2日稼働（曜日の変動あり）
- ⑤ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
- ⑥社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。

総括

年度初めには新しい職員も入り明るい兆しがみえるスタートとなった。暫くは2台目の稼働を維持できていたが1月に看護師、介護士と退職が重なり2月からは人員不足の為、1台のみの稼働となった。2台目で対応していたサービスを1台にまとめることで、通常営業の月曜日から金曜日までの稼働では収まり切れず、土曜日の午前を稼働しサービスの維持を図った。フル稼働となり、新規の受け入れはおろか、ターミナルの受け入れも出来ない状況となった。その後看護師の雇用を行い1台は比較的安定して稼働させることは出来たものの、ふじの郷全体の人材不足もあり新規及びターミナルの受け入れは出来ず、2台目の稼働は停止したままだった。結果、利用者、家族また外部からのニーズに対応できないこと、人材の不足は課題である。目標とする月間延べ訪問件数140件には達することが出来なかったが、依頼の問い合わせに関しては多い時で月10件を超えることもあった。ターミナル期の方の依頼は全54件と年々増加しており、外部の施設内での訪問入浴も確実に増え、ふじの郷訪問入浴の必要性を認識できたのではないかとと思われる。また人員に余裕のない中、各スタッフに自身の役割以外にも研修し担う事で、サービス全体の状況をみることができチームワークとしてスキルアップに繋がるなど、今年度は新たにプラスになる面も多かった。

平成27年度には10年目を迎える訪問入浴だが毎月途切れることはなく依頼の問い合わせがあることは当訪問入浴部門の強みでもある。サービスを丁寧に行うこと、サービスに対するスタッフ一人一人の姿勢、態度は常日頃大切にしていることであり、しいてはチーム全体の雰囲気の良いが利用者、家族また外部の方々からの評価となっているのではないかと考える。サービスの質を維持、向上するためにも人材の育成、重要性を再認識する年であった。

重点目標別報告

- ①利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理・生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
 - ・定期的な訪問により利用者の表情や会話等で心身の変化をみることができた。また入浴して頂くことで皮膚状態を細かく観察することができ、本人、家族及びサービスを提供する関係者に状態の変化を報告できた。
- ②利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
 - ・お風呂の時間帯、お風呂の湯加減の好み、準備等の物音、スタッフの声の音調など配慮すべきことは様々であり、お風呂のサービスに満足していただくことはもちろんだが、家のなかに入り込まれるストレスを考慮しサービスの提供に努めた。
 - ・利用者、家族の要望に応え信頼関係を築いていくことで、希望や要望をより細やかに話していただける環境作りに努めた。
 - ・2月からの人材不足による稼働台数減少により、利用の増加や日程の要望等に応えることが出来ないことがあった。
- ③利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
 - ・定期的に入浴することで身体の清潔を保持し、利用者が快適に過ごして頂けた。
 - ・利用者が入浴している姿を目の前で見て頂くことで、訪問している間、家族が安心して過ごしていただける時間を提供できた。
 - ・スタッフとの会話、季節毎のイベント、毎月お渡しするカレンダーなど楽しみになることを増やすことで気分転換を図れた。
- ④訪問入浴車2台を以下のように使い、月間延べ訪問件数140件を目安とし、1日平均、5人／台程度の利用となるよう努める。

入浴車1台目：月～金 週5日稼働

2台目：火（午後）・木（午後）・金（全日）

週2日稼働（曜日の変動あり）

別紙参照

- ⑤ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
 - ・介護予防の依頼はなし。
 - ・身体障害者の依頼はなし。
 - ・ターミナルの依頼は54件。
- ⑥社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。
 - ・訪問入浴がどんなサービスなのか、また在宅での介護の現状をみてもらうことを学んで頂いた。

訪問入浴部門主任：高山智之